

# ルピナス

## 藤野ふるさとまつり



第102号

平成30年11月1日(日)



藤野地区町内会連合会 副会長 仙北 英治

### 地域の縁で絆を

平素より町連の運営にご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。今期も広報部、地域安全部、女性部を担当しており身の引き締まる思いであります。

第二十八回「ふじのふるさとまつり」は、地元町内会のご協力により十五島公園で実施出来ました。「ステージと売店が一体感のある会場設営」で賑やかに運営され、商工会と太陽グループの協賛品による大抽選会、夕刻から子ども・大人の盆踊りで更に盛り上がり、地域の交流と親睦の輪が広がりました。

九月六日の胆振東部地震では、厚真町や清田区で大災害となり、今も避難生活をしている方々の一日も早い復興を願っております。幸いにも藤野地区は無事でしたが、全道のブラックアウトでライフラインストップ、不安な地震体験をしました。「ひとりの犠牲者も出さない防災意識と準備」が必要です。「カリスマ防災士の目からウロコの技」を参考にしましょう。

①懐中電灯(寝室・台所に)  
②家具(低いもの、棚の上部は使わない、ストッパーで転倒防止)

③風呂に水を貯える(トイレはパイプ確認)

④防災備蓄食(冬を意識して七日分、小魚、菓子、缶詰等)

⑤ソーラー充電器

⑥公衆電話を確認しておく(無料で使える)

札幌市から発令される「避難情報」について確認しましょう。

●避難準備・高齢者等避難開始  
(人的被害の発生する可能性が極めて高まった状況です。お年寄りや子ども、要配慮者の方は避難開始が必要な状況です。)

●避難勧告  
(災害が発生する可能性が極めて高い状況です。速やかに避難場所へ避難しましょう。)

●避難指示(緊急)  
(人的被害が発生する危険性が極めて高いか、実際に人的被害が発生した状況です。直ちに避難場所へ避難しましょう。)

今回の地震が厳冬の災害なら「命の危険」を伴います。「冬の防災はどうする?」「非常食用意してますか?」自分の命を守る準備をしましょう。



写真でふりかえる

# 第28回 ぶどうのふるさとまつり

8月4日(土)

おまつりに御来場下さいました町内会の皆様、また、開催にあたり協力くださいました出演者の皆様誠にありがとうございました。尚、朝早くから夜遅くまでご協力くださいました役員の皆様誠にご苦労さまでございました。

当日は良い天気とはなりませんでしたが、無事開催ができ、安堵しているところでございます。

来年もまた、第二十九回ぶじのふるさとまつりでお会いできることを役員一同楽しみにしております。



実行委員長 挨拶



実行副委員長 開会宣言









# 町内会の紹介

## みんなで支え合う 優しいまちづくり

藤ヶ丘南町内会会長 星野 数夫

町内会発足二十六年が経ち環境が年々変化している昨今です。少子高齢化が進み、住みやすい環境にするには身近な問題に取り組む必要があります、かねてから難問題がありました。

ごみステーションの改善・永年ブルーシートを使用し当番の方が朝夕出し入れし努力して参りました。この問題の解決に一年半以上調査して鉄製の箱を提案、町内会役員にアンケート九十四%の賛同を頂き総会三十年四月に諮り、賛成多数で実施の運びに至りました。設置場二十一箇所計画(三百二十世帯)もすんなりと進化した訳では有りません。場所・設置場の環境・戸数の割り振り等々、了解を得るのに一戸一戸役員が訪問し理



解をして頂きました。設置場所でもルール説明二十一回ごみ減量と当番一週間交代&当番を明確にしてごみステーションはごみを捨てる場所ではなく廃棄物を処理して清掃局が収集する場所とPR。さらに資源物は町内会に還元できる仕組みをお話ししました。説明会には七十五〜八十%の方が出席頂き、設置は平成三十年六月二日〜七月二十八日にかけて全て完了しました。

会長筆頭に副会長・総務・会計・環境部の方々の並々ならぬ協力、そして努力に感謝致します。話し合いは回数を数えきれず時には喧々諤々と意見を出し合い大変な事業を成し遂げました。感謝につきます。

経費は町内会会員の負担そして特別会計から捻出しました。総経費約三百万近く掛かりましたが、大変好評で感謝の言葉を数多く頂きました。これから益々高齢化が進みます。町内の悩みが一つ無くなりました。完遂に対して賛同として協力して頂いた方々に対し厚く御礼申し上げます。今後、他の問題点があれば速やかに取り組み町内会員とコミュニケーションを図りみんなで支え合う優しいまちづくりを目指していきます。



自宅2階から見えた虹・八剣山

### 住みよく、明るく、楽しい 笑顔になれる町内会

藤ヶ丘西町内会会長 佐藤 悦子

藤ヶ丘西町内会は平成二年、藤ヶ丘パークタウンの分譲に伴い誕生した藤野地区では新しい町内会です。

そこで、当町内会の主な取り組みを紹介します。



子供たちが伸び伸びと活動出来るようにと、道民運動の「安全・安心どさんこ運動」に参加して児童生徒の登校時の見守り活動を毎日行っています。また、地域防犯活動団体として札幌市に登録しています。

今年は熊の出没が激増し、藤野南小学校前で、報道関係各社から取材がありました。STV・UHBのニュースでは、見守り活動風景が度々紹介されております。

生物多様性さつぽろ応援宣言団体でもありますので、歩道美化や清掃活動を通じて、自然環境を守る取り組みを札幌駅前通地下歩行空間でパネル展示を行っています。

まとめに、サップロスマイルパートナーの団体登録も町内会では、第一号ですので「笑顔になれる街さつぽろ藤野」を目指してまいりますと存じます。



# 各専門部の活動

## ◆二千六百九人の お年寄りにお祝い

福祉部長 曾我部 久和

今年も藤野地区社会福祉協議会と藤野地区町内会連合会の共同事業として、九月十七日の敬老の日に祝辞やメッセージを送る「敬老メッセージ贈呈事業」を実施しました。

贈呈対象者は七十五歳から八十歳未満の九百五人、八十歳以上の千七百四人、併せて二千六百九人となっております。

特に八十歳以上の方には、藤野小、藤野南小、藤の沢小、三校の児童にメッセージカードの作成を依頼し、「日頃地域のおじいさん・おばあさんとのふれあい」や「子供達が今がんばっている事」などについて心あたたまる言葉を短冊に書いてもらいました。

地域に暮らす高齢者がこれからも元気でますます活躍されることを祈念し、両団体の祝辞と児童からのメッセージを贈呈しました。

## ◆町連パークゴルフ大会開催

体育部長 宮里 紀詮

九月九日(日) 秋晴れの中、八剣山パークゴルフ場にて総勢五十六名(男性三十三名・女性二十三名)の参加があり開催されました。吉田会長の挨拶の後、参加者は4コースに分かれ、暑い中熱戦が繰り広げられました。

成績は  
男性優勝(百一打)

◆井上 昭さん(野々沢町内会)

女性優勝(九十七打)

◆関 初恵さん(緑町町内会)

ホールインワンも仲良く、男性四名、女性四名と計八個になりました。それぞれのチームで交流を深める事が出来たと思います。

町連の豊栄山登山は今年度も三回実施の予定でしたが藤野地区に熊出没のため三回ともできませんでした。来年度は実施できることを期待したいと思います。

## ◆研修会を開催

青少年部長 大越 龍幸

十月五日藤野地区センターで、主催・藤野地区青少年育成委員会、協賛・藤野町連青少年部の研修会、「子ども達を虐待から守るために」を開催致しました。

我々の気づかない所(家庭)で子ども達は目を疑う程の虐待を受けています。今回はビデオで顔や

お尻を殴られ、ブス色に腫れ上がった写真を観たり致しました。その妻は想像を遥か超えた物でした。児童虐待の種類は、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト(監護の怠慢・拒否)・心理的虐待があり、総てが子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えます。自分の住む周りで、「もし」と感じたら、迷わず189番に電話をして下さい。通報者は誰と分かる事は全くありません。その電話一本で子どもの命が守られるのです。地域ぐるみで真剣に見つめましょう。

## ◆平成三十年度

### 女性部リーダー研修 施設見学会を終えて

女性部長 伊藤 洋子

秋風薫る九月二十日(木)二十名の参加者と共に、さつぼろ円山動物園、札幌防災センター見学、今年も吉田会長・仙北副会長(女性部担当)のご参加を頂き感謝でした。

人と動物と環境の絆をつくる動



物園。豊かな自然に囲まれ、心癒やされる空間、躍動感あふれる姿、鳴き声の多種、可愛らしい身なり等々感動——動物園は子どもの世界だけではなく、大人もお出かけは如何でしょうか？

札幌防災センターでは、見て・触れて・体験して学ぶ、災害バーチャル体験、地震体験、消火体験、煙体験を学習致しました。

過日の北海道震災直後の体験でとてもリアルであり、地域の防災マップ、我が家の防災グッズの確認と防災・防火に対する意識を高める事が出来ました。





# ◆第二十四回藤野地区文化展

文化部長 伊東 慶子

今回、文化展と第十七回フラワーガーデニング写真展が九月八日・九日の両日、地区センターで同時開催されました。

今年の文化展は出品者七十六名、約六百五十一一点の力作が展示されました。

陶芸等様々な素材の手工芸・絵画・書・短歌・写真・生花など皆さんの作品にかける意気込みが伝わってくるようでした。

柔らかな筆捌きの水彩画・油絵・墨彩画・見事な爆布韻・繊細で優しさを感ぜさせる押し花・絵手紙・切り絵・賞を頂いた七宝焼・額絵・手芸では色彩に溢れるアートフラワー・布あそびの袋物・手芸品の数々、艶やかな十数のおひな様が並び可愛らしい・・・味わいのある陶芸品・ガラス工芸・五十円玉を使つての工芸品・グループホーム十一名でのペットボトルのキャップ工芸タペストリー（鯉のぼり）素晴らしい出来栄えでしたね。

各町内会の老人クラブや女性部の趣味の会、一般の皆様のご協力のおかげで多数の作品を展示する事が出来ました。大地震直後の文化展に出品頂き

ました七十六名の皆様、来場いただきました二百三十名の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



## ◆町連「花いっぱい運動」と「写真展」

環境部長 古川 和夫

環境部は三十年代町づくりビジョン「花と緑、文化と福祉のまち藤野」を指針とする花いっぱい運動事業を行い、六月上旬に十二町内会と道銀藤野支店の協力による230号線及び市道の花壇柵に花株約八千株の植栽を行いました。天候の不順によりきれいな花が咲き誇ることはありま



せんでしたが、道行く人たちの心を和ませてくれました。

植栽された花の成長を写真に収めたフラワーガーデニング写真展を九月に文化部と共催で行い、会場を訪れた多くの方たちが熱心に見入っております。



## 導き地藏



国道230号線十五島公園バス停横の坂を下ると右手に「導き地藏」があり、人々に愛され、この坂を「地藏坂」と呼ばれるようになりました。この度、地主の要請で移転することとなり、九月末に含笑寺の境内に無事安置しました。これからも藤野の平和を見守っていただけたらと思います。



## 編集後記

九月六日未明の胆振東部地震で震源地の胆振地方をはじめ、札幌市内でも地盤の陥没などの被害がありました。藤野地区は固い地盤に守られ被害が少なかったのは幸いです。「災害は忘れたころにやってくる」といいますが、その心構えを忘れないようにしましょう。

(佐藤、高橋記)



ルピナス第一〇二号

平成三十年十一月一日発行

発行者 吉田 健治

編集者 佐藤 英之

高橋 明利

印刷所 日光広告(株)

連絡先 五九二四九三〇(佐藤)